

＜第10回 若林地域会議 会議録＞

日時 令和8年1月23日（金） 19:00～20:45
場所 若林交流館 多目的ホール
出席者 委員 12名
事務局 吉澤支所長、松原副主幹、倉地主査
オブザーバー 村中館長

1 会長あいさつ（省略）

2 報告事項

（1）安全のみどり線の効果検証について

高岡支所より報告

- ・令和4年度から6年度までの3年間で、地域課題解決事業として、若林地域にみどり線を引いた。そこで若林地域を使って、安全のみどり線がどのような効果を生み、どのようなことをすればより効果が高まるのかをアンケート調査していくものになる。アンケートのポイントは①みどり線が通学路であるという認識の有無、②走行速度を抑えようという意識・行動の有無、③安全な位置を走ろうという意識・行動の有無、④歩行者目線での安全性向上の実感の有無、⑤今後の啓発活動における課題の5つとなる。回答方法は二次元コードかアンケート用紙に記載し返送の2パターン用意。検証結果は今後の地域会議での協議や、地域課題解決事業での実施内容に反映させる。

〈委員〉実施内容について異議なし。

（2）第9回若林地域会議会議録について

高岡支所より報告

- ・自主防災サポーター養成講座について、高岡4地域のうち、若林地域の参加者が最も少ないため、是非参加してもらいたい。防災フェスタについても初めて実施するイベントになるので参加してもらいたい。協議事項の提言は、前回出た意見を資料に反映させているため、本日の協議で確認をし、最終決定としたい。

（3）若林地区「謎解き×防災フェスタ」のイベント内容について

高岡支所より報告

- ・謎解きクイズは体育館、運動場含む屋外、校舎を活用しレベル1～4までのクイズを用意した。クリアした方には景品をプレゼントする。ステージイベントではオープニング挨拶として若林地域会議会長、太田市議に挨拶をしてもらう。次に豊田南高校の吹奏楽部の演奏、豊田警察署、自衛隊のトークショーと続く。最後に若林東小学校のマーチングバンド部、豊田南高校の応援・バトン部に発表してもらい終了となる。出展ブースについて、屋外は自衛隊愛知地方協力本部、豊田警察署、豊田市消防本部、上下水道局、消防団、捜索救助犬に出展してもらう。体育館は、愛知工業大学「学防ラボ」、名古屋大学減災連携研究センター、ひまわりネットワーク、日本赤十字社、あいち航空ミュージアム、

HAKOTETSU に出展してもらおう。多くの団体に協力してもらいイベントを実施することができ、楽しいイベント盛りだくさんのため是非参加してもらいたい。

3 協議事項

(1) 提言当日の流れについて

高岡支所より説明

- ・当日の流れは、①会長挨拶、②提言書の提出及び内容説明、③市長挨拶、④意見交換、⑤市議挨拶、⑥写真撮影、⑦市長退席となる。提言内容の実施は令和9年度となる。それに向けて詳細については、来年度の地域会議で協議をしていく。

(2) 提言に向けた資料の確認について

高岡支所より説明

- ・前回意見が出た3箇所を抜粋して説明する。1つ目は、提言書の表紙を変更してほしいという意見があったため、街路課にドローンを使って撮影した風景をもらい掲載した。2つ目は事業実施後の目標があると良いという意見があったため、「防犯」「コミュニティ」に関する目標をそれぞれ記載した。防犯では、防犯マップを作成して終わりではなく、地域住民全員が自分事として防犯を考えながら生活し、ここが危ないという意見が地域全体から出るようになることが目標と思う。コミュニティでは、挨拶を通して多世代でのコミュニケーションを常態化させ、いざというときのセーフティーネットが構築されることが目標と思う。3つ目は、「挨拶ができる住民を増やす」という目標に対して、挨拶の標語を考え、その標語を広報するという内容では、目標に対して課題解決にならないのではないかという意見があった。そこで、挨拶の標語を活用し、「大人が子どもに対して挨拶をする」という文言を加え、目標に沿った内容とした。

(3) 提言に向けた市長への質問事項について

高岡支所より説明

- ・提言当日に市長との意見交換の時間があるため、円滑な意見交換になるよう、事前に質問事項を考えてもらいたい。内容は提言内容に沿ったものと考えてもらいたい。

〈委員〉提言内容以外の質問はダメか。

〈事務局〉提言内容に沿ったものと考えてもらいたい。

〈委員〉提言された方が質問するならわかるが、提言した方が質問するのは理解できない。

〈委員〉前回の提言もそうではない。提言内容はその場で回答をもらえない。

〈委員〉前回は意見交換ではなく、市長の話聞くという形式だった記憶がある。ただ、要望を伝えたこともある。例えば若林駅周辺に居酒屋を作してほしいという意見があったと思う。

〈委員〉防災ラジオの自治区の利用基準を見直してほしいという意見を伝えたときは実際に対応してもらい、条件はあったが使えるようにしてもらった。

〈委員〉提言内容に沿ったものではないが、防災士の取得について、愛知県のカリキュラムは3回に分けて実施される。自分が大阪で受けたときは土日だけで完結され

るものであった。豊田市としても今後防災士を増やすためにそのような取組をしていく予定はあるか聞きたい。

〈事務局〉提言は市にこのようなことをやってほしいというものであり、その提言書に組み入れられないようなものを意見交換してもらいたいと思っている。防災士の資格については、既に愛知工業大学や藤田医科大学に協力してもらい、2日で資格を取得する制度が整っている。

〈委員〉最近実施されていた覚えがある。

〈委員〉2日間で取れる代わりに、救命講習だけは別で受講する必要がある。

〈委員〉防災マップについて、以前梅坪で作成されており、今回の提言で若林地域でも作成するが、市全体で防災マップを作れないか。とよたiマップには、ハザードマップとしては利用できるが、防犯マップとしては利用できないため、とよたiマップを利用して市全体で作成してもらいたい。

〈委員〉交通安全フォーラムに行った時、スマートポールが紹介されており、トヨタ自動車が事故があった場所をマップとして出すということをやっていた。その防犯版と思えばすごく良いと思う。

〈委員〉防犯マップはあなたの家付近は危険ですよということになりかねないので、難しいとは思いますが、市長に質問しても良いと思う。

〈委員〉防犯もコミュニティも地域の中で人材を育てていく必要がある。よって一般的に使えるツールがあれば、見て、勉強して、地域全体で共通の認識を持つことができるようになるかと思う。防災でいう防災士のように、カリキュラムに落とし込み、地域住民に落とし込んでいく制度設計があれば、地域に防犯意識が根付いていくのではないか。

〈委員〉地域としては提言内容に基づき、防犯マップを作成していくが、豊田市全体として防犯に関する取り組みはどんなものがあるのか聞きたい。防犯マップには危険箇所を調査して地図に落とし込んでいくが、防犯はそれだけでなく詐欺などもある。そういった事例に対して市としてどんな取り組みをしているか聞ければと思う。

〈委員〉市長との意見交換ではあるが、市長が全ての質問に対して回答するわけではない。事務局として他の職員も来るため、そういった方からの回答になる可能性もある。また、質問に対して、やるやらないという回答は来ない。方向性的話や予算の話に留まる。今回の提言もだが、市に仕事を依頼するわけではない。提言を出すということは地域として動くというのが前提にある。

〈事務局〉市長はなかなか地域の方と意見交換をする場がないため、提言の機会を活用して、提言に入れられないようなことを意見交換してもらえればと思っている。専門的な質問があるのであれば、所管の職員を高岡支所から同席を依頼することもできる。

〈委員〉どんなことを質問すればよいかわからない。市に聞きたいことなのか、市長に聞きたいことなのか。例えば若林地域として防犯やコミュニケーションに取り組むけど、どう思いますかという質問でも良いのか。

〈委員〉先ほど若林地域としてこんなことをするが、市全体ではどんなことをしているかという質問を考えてもらったがそれで構わない。

〈委員〉国際首長フォーラムにボランティアとして参加し気づいたことだが、豊田市は保見地区があり、保見は外国にルーツを持つ人がたくさんいるため、自然とつなが

りが生まれている。実は保見地区以外にも外国にルーツを持つ人はたくさんいる中で、豊田市として保見地区以外の外国にルーツを持つ人をマッチングさせるような取り組みがあるかを聞きたい。

〈事務局〉質問は①とよたiマップを使って、全市的に防犯マップを作成する予定はあるか。②全市的に防犯の取り組みはどんなことをしているか。③保見地区以外の外国にルーツを持つ人をマッチングさせる取り組みはあるか。の3点で良いか。

〈委員〉異議なし。

オブザーバーより挨拶

〈村中館長〉

市長は質問に対してしっかりと自分の考えを示してくれる。その考えを受け止め質問を重ねることで有意義な意見交換の場になるかと思う。また2月1日に館報を配布するが、二十歳の集いの特集をしているので是非見ていただきたい。豊田市全体としては6割程度の参加率だが、若林地域は8割強の方に参加してもらった。郷土愛の強い地域であると感じている。

★次回開催

第11回定例会：令和8年2月27日（金）午後7時から 場所：若林交流館多目的ホール